



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社

コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 水谷 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 板垣 政昭

TEL 03-3481-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,045	△10.9	△387	—	△371	—	△412	—
25年3月期第1四半期	14,647	2.6	△126	—	△167	—	△188	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △120百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △326百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△13.52	—
25年3月期第1四半期	△6.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	34,106	12,961	38.0
25年3月期	35,519	13,112	36.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,961百万円 25年3月期 13,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	1.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	5.6	360	0.1	320	11.4	220	68.8	7.21
通期	63,000	7.7	940	19.9	860	53.8	590	253.2	19.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	31,935,458 株	25年3月期	31,935,458 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,424,961 株	25年3月期	1,423,350 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	30,511,321 株	25年3月期1Q	30,513,568 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和を背景に円高の是正、株価の回復が見られ、企業活動においても景気回復に向けた動きが出始めておりますが、実体面では明らかな回復には及ばず、前期に続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社（以下当社グループ）が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図りました。

しかしながら、当社の主要顧客のなかにも回復に向けた動きが一部見られますが、全般的には本格的な回復には至らず非常に厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は130億4千5百万円、前年同期に比べて10.9%の減収、営業損失は3億8千7百万円（前年同期営業損失1億2千6百万円）、経常損失は3億7千1百万円（前年同期経常損失1億6千7百万円）、四半期純損失は4億1千2百万円（前年同期四半期純損失1億8千8百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 107億2千6百万円（前年同期比7.0%減）
- ・営業利益 6千5百万円（前年同期比38.8%減）

商事部門においては、厳しい状況で推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①半導体デバイス事業

半導体分野では、自動車関連は海外向けを中心に堅調に推移いたしました。また、白物家電関連も国内エアコン向けを中心に堅調に推移いたしました。しかしながら、パソコン関連や産業機関連等は前期に続き苦戦いたしました。

電子デバイス分野では、イメージセンサが低調となり、また、前年同期に好調であった希土類磁石が減速したこともあり、全般に低調に推移いたしました。

②電子材料事業

電子材料事業は、コネクタ関連は自動車向けやスマートフォン向けは堅調に推移いたしました。テレビ、パソコン、デジタルカメラ向けが前期に続き低調に推移いたしました。

また、半導体リードフレーム関連も低調に推移いたしました。

③FA・環境システム事業

産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザ加工機は低調でしたが、受注は好調となっております。NC装置は低調に推移いたしました。

FA機器分野では、エレクトロニクス関連の装置メーカーからの受注が伸び悩み低調となりました。

環境ビジネス分野では、太陽光発電関連の商談が活発化しておりますが、受注には至らず低調に推移いたしました。

(IT部門)

- ・売上高 8億2千2百万円（前年同期比25.5%減）
- ・営業損失 1億4千8百万円（前年同期営業損失8千6百万円）

IT部門においては、厳しい状況で推移いたしました。

なお、IT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①ビジネスソリューション事業

建設関連システムは、前期までの大型開発が終了したことと、それに続く受注に苦戦したことにより低調となりました。

エンドユーザー向けシステム開発は主要ユーザーの開発案件の受注は堅調に推移しておりますが、納期の関係で売上は低調となりました。

受託ソフト開発は、主力の電力関連向け開発の立ち上がり遅れにより低調となりました。

②エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、専用装置システム開発およびカーナビ開発の受注は堅調に推移いたしました。

また、専用ボードシステムも受注は堅調に推移しております。

監視制御システム系は、装置制御関連でユーザーからの受注が回復傾向となりましたが、公共業務関連は前期に続き苦戦しております。

③IC設計事業

IC設計事業は、受注環境が厳しく低調に推移いたしました。

(製造部門)

・売上高 15億円 (前年同期比25.5%減)

・営業利益 5千2百万円 (前年同期比61.9%減)

製造部門においては、好調であった前年と比較いたしますと伸び悩みました。

プリント配線板事業

相模原工場においては、車載向け基板は低調となりましたが、モジュール基板は拡大基調で推移いたしました。

福島協栄株式会社においては、アミューズメント向けおよび車載向け基板が好調であった前期と比較すると減少いたしました。

海外で行っているフレキ基板ビジネスは堅調に推移いたしました。

事業全般としては堅調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて14億1千2百万円減少し、341億6百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金5億9千5百万円の減少、受取手形及び売掛金13億4千6百万円の減少等により、17億1百万円減少し、280億6百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券3億4百万円の増加等により、2億8千8百万円増加し、61億円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金6億9千3百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金1億円の減少、賞与引当金1億4千2百万円の減少等により、10億1千5百万円減少し、159億8千3百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金2億5千5百万円の減少等により、2億4千6百万円減少し、51億6千1百万円となりました。

この結果、純資産は、1億5千1百万円減少し、129億6千1百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の36.9%から1.1ポイント増加し、38.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点では平成25年5月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,761,970	7,166,402
受取手形及び売掛金	14,982,748	13,635,985
電子記録債権	116,077	154,303
商品及び製品	5,559,425	5,623,586
仕掛品	610,688	776,639
原材料及び貯蔵品	136,899	140,877
繰延税金資産	371,108	270,529
その他	176,618	245,658
貸倒引当金	△7,959	△7,877
流動資産合計	29,707,577	28,006,104
固定資産		
有形固定資産	2,608,413	2,594,531
無形固定資産	282,951	282,575
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192,485	2,497,173
繰延税金資産	22,803	28,082
その他	789,458	783,630
貸倒引当金	△84,210	△85,212
投資その他の資産合計	2,920,537	3,223,673
固定資産合計	5,811,901	6,100,780
資産合計	35,519,479	34,106,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,839,026	10,145,617
短期借入金	3,123,589	3,088,671
1年内返済予定の長期借入金	1,220,000	1,120,000
未払法人税等	118,117	27,449
賞与引当金	265,884	123,219
工事損失引当金	1,709	—
その他	1,430,437	1,478,535
流動負債合計	16,998,765	15,983,494
固定負債		
長期借入金	3,970,000	3,715,000
繰延税金負債	144,383	177,719
退職給付引当金	537,537	506,722
役員退職慰労引当金	216,625	221,000
その他	539,344	541,222
固定負債合計	5,407,889	5,161,664
負債合計	22,406,654	21,145,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,953,972	6,510,875
自己株式	△416,584	△416,872
株主資本合計	12,819,442	12,376,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	484,508	679,905
為替換算調整勘定	△191,126	△94,237
その他の包括利益累計額合計	293,382	585,668
純資産合計	13,112,824	12,961,726
負債純資産合計	35,519,479	34,106,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	14,647,839	13,045,238
売上原価	13,197,929	11,773,613
売上総利益	1,449,910	1,271,625
販売費及び一般管理費	1,575,934	1,659,564
営業損失(△)	△126,024	△387,939
営業外収益		
受取利息	400	359
受取配当金	19,236	22,071
為替差益	—	22,600
その他	9,947	22,094
営業外収益合計	29,584	67,125
営業外費用		
支払利息	39,922	34,096
為替差損	12,109	—
債権売却損	7,854	5,587
その他	11,481	10,898
営業外費用合計	71,367	50,582
経常損失(△)	△167,807	△371,396
特別利益		
投資有価証券清算益	—	6,978
特別利益合計	—	6,978
特別損失		
固定資産除却損	30	1,497
特別損失合計	30	1,497
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,837	△365,915
法人税、住民税及び事業税	25,458	26,044
法人税等調整額	△5,106	20,624
法人税等合計	20,351	46,669
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,189	△412,585
四半期純損失(△)	△188,189	△412,585

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,189	△412,585
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△117,066	195,397
為替換算調整勘定	△21,089	96,889
その他の包括利益合計	△138,156	292,286
四半期包括利益	△326,345	△120,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△326,345	△120,298

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	11,535,327	1,100,020	2,012,490	14,647,839
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,213	3,930	255	6,399
計	11,537,540	1,103,950	2,012,746	14,654,238
セグメント利益又は損失(△)	107,431	△86,845	137,233	157,819

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	157,819
全社費用(注)	△283,843
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△126,024

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	10,726,435	818,499	1,500,304	13,045,238
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	411	3,699	—	4,111
計	10,726,846	822,198	1,500,304	13,049,349
セグメント利益又は損失(△)	65,699	△148,884	52,305	△30,879

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△30,879
全社費用(注)	△357,060
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△387,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。